

笑う門には 福来たる

(株)日本交通社
発行人 光田秀之
☎089-946-3911

何かをしよう
何かをしよう
みんなの人のためになる
何かをしよう
よく考えたら自分の体に合った
何かがあるのだ
弱い人には弱いなりに
わたしたちにはわたしたちなりに
何かがあるのだ
生かされて生きていくことだ
小さいことでもいい
自分にできるものをさかして
何かをしよう
一年草でも
あんなに美しい花をうけて
終わってゆくではないか

坂村真民記念館（砥部町）

明朗・愛和・喜働

子血母三遷

孟子は春秋戦国時代に中国で活躍した儒学者です。孟子の母親は、息子の教育を中心に暮らしを考えるとという子育てをしました。

一家は最初、墓地の近くに住んでいましたが、幼い孟子が巾衣のまねをして遊ぶので、市場の近くに移り住みます。しかし今度は、商いのまねをして遊ぶようになりしました。そして三度目は、学校のそばに移り住みました。

すると孟子は、礼儀作法をわきまえるようになり、家族はその地ですと暮らすようになりました。後に孟子は学問を修め、著名な儒学者となったのです。

「子供のより良い教育環境のために住む場所を三度変えた」という孟子の母の教育のあり方は「孟母三遷」と呼ばれています。環境が人の成長に影響を及ぼすことは職場にも当てはまるでしょう。職場内の環境次第で、働く意欲は左右されます。

より良い職場環境を作る第一歩としてデスクやキャビネットなど、身近な場所の整理整頓から始めて、働く場を整えていきたいものです。

◆ 職場環境を整えましょう

日本再発見！偉人

油屋熊八像（大分県別府市）

別府駅前には、満面の笑みで両手を高く挙げたポーズをとった男性の銅像が建てられている。モデルは別府観光の父・油屋熊八。彼は宇和島で生まれた実業家で、別府港に棧橋を作る運動をしたり、地獄めぐり遊覧バスを考案したり、日本初の女性バスガイド付きの定期観光バスを定着させたり、ユニークなアイデアで別府の観光振興に力を注いだ。別府に来る前は全財産を失って無一文になり、アメリカに渡り放浪するなど、波乱万丈な半生を過ごした人物でもある。



保親さんの人生万感

限りある命愛しむか鳴く蟬の
渾身の力森をふるわす

今のまま変わぬ国であれかしと
強く願ひブータンを去る

出来ないのはやらないから

しない理由を探してはいないか。結果を求めず
考えすぎず、まずは、一步を踏み出そう。

